



# IPv6 トンネル コマンド

---

この章は、次の項で構成されています。

- [interface tunnel](#) (2 ページ)
- [tunnel destination](#) (3 ページ)
- [tunnel isatap solicitation-interval](#) (4 ページ)
- [tunnel isatap robustness](#) (5 ページ)
- [show ipv6 tunnel](#) (6 ページ)

# interface tunnel

インターフェイス コンフィギュレーション (トンネル) モードを開始するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **interface tunnel** コマンドを使用します。

## 構文

**interface tunnel** *number*

## パラメータ

- **number** : トンネル番号を指定します。

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## 例

次の例では、インターフェイス コンフィギュレーション (トンネル) モードを開始しています。

```
switchxxxxxx(config)# interface tunnel 1  
switchxxxxxx(config-if)# tunnel source auto  
switchxxxxxx(config-if)# exit
```

# tunnel destination

手動のトンネルインターフェイスの宛先 IPv4 アドレスを指定するには、インターフェイス（トンネル） コンフィギュレーションモードで **tunnel destination** コマンドを使用します。宛先 IPv4 アドレスを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

## 構文

```
tunnel destination {host-name | ip-address}
```

```
no tunnel destination
```

## パラメータ

- **host-name** : リモートホストの DNS 名。
- **ip-address** : リモートホストの IPv4 アドレス。

## デフォルト設定

トンネル インターフェイス宛先は指定されていません。

## コマンドモード

インターフェイス（トンネル） コンフィギュレーション モード

## 使用上のガイドライン

2つのトンネルに、発信元アドレスと宛先アドレスが正確に同一である同一カプセル化モードを使用するように設定することはできません。

## 例

次の例では、手動IPv6トンネルのトンネル宛先アドレスを設定する方法について説明します。

```
switchxxxxxx(config)# interface vlan 1
switchxxxxxx(config-if)# ip address 10.0.0.1 255.255.255.0
switchxxxxxx(config-if)# exit
switchxxxxxx(config)# interface tunnel1
switchxxxxxx(config-if)# ipv6 address 3ffe:b00:c18:1::3/127
switchxxxxxx(config-if)# tunnel source vlan1
switchxxxxxx(config-if)# tunnel destination 192.168.30.1
switchxxxxxx(config-if)# tunnel mode ipv6ip
switchxxxxxx(config-if)# exit
```

# tunnel isatap solicitation-interval

非要請ルータ要請メッセージ間の時間間隔を設定するには、グローバルコンフィギュレーションモードで **tunnel isatap solicitation-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

## 構文

**tunnel isatap solicitation-interval** *seconds*

**no tunnel isatap solicitation-interval**

## パラメータ

- **seconds** : ISATAP ルータ要請メッセージ間の時間間隔を秒単位で指定します。(範囲 : 10 ~ 3600)。

## デフォルト設定

ISATAP ルータ要請メッセージ間のデフォルトの時間間隔は 10 秒です。

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、ISATAP ルータを検出するために送信する非要請ルータ要請メッセージ間の間隔を決定します。

## 例

次の例では、ISATAP ルータ要請メッセージ間の時間間隔を 30 秒に設定しています。

```
switchxxxxxx(config)# tunnel isatap solicitation-interval 30
```

# tunnel isatap robustness

デバイスが送信するルータ要請更新メッセージの数を設定するには、グローバルコンフィギュレーションモードで **tunnel isatap robustness** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

## 構文

**tunnel isatap robustness** *number*

**no tunnel isatap robustness**

## パラメータ

- **number** : デバイスが送信するルータ要請更新メッセージの数を指定します。(範囲: 1～20)。

## デフォルト設定

デバイスが送信するルータ要請更新メッセージのデフォルトの数は 3 です。

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## 使用上のガイドライン

ルータ要請間隔 (アクティブな ISATAP ルータがある場合) は、ISATAP ルータから受信した最小ルータ有効期間を (堅牢性 + 1) で除算した値です。

## 例

次の例では、デバイスが送信するルータ要請更新メッセージの数を 5 に設定しています。

```
switchxxxxxx(config)# tunnel isatap robustness 5
```

# show ipv6 tunnel

IPv6 トンネルに関する情報を表示するには、ユーザ EXEC モードで **show ipv6 tunnel** コマンドを使用します。

## 構文

**show ipv6 tunnel [all]**

## パラメータ

- **all** : (オプション) スイッチは、トンネルのすべてのパラメータを表示します。このキーワードを設定しない場合、そのタイプに対応するトンネルパラメータのみが表示されます。

## コマンドモード

ユーザ EXEC モード

**例 1.** 次に、all キーワードを設定していない場合に、ISATAP トンネルに関する情報を表示する例を示します。

```
switchxxxxxx# show ipv6 tunnel
Tunnel 1
  Tunnel type           : Manual
  Tunnel status        : UP
  Tunnel Local address type : VLAN 100
  Tunnel Local Ipv4 address : 192.1.3.4
  Tunnel Remote Ipv4 address : 192.3.4.5
Tunnel 2
  Tunnel type           : ISATAP
  Tunnel status        : UP
  Tunnel Local address type : auto
  Tunnel Local Ipv4 address : 192.1.3.4
  Router DNS name       : ISATAP
  Router IPv4 addresses
    1.1.1.1             Detected
    100.1.1.1           Detected
    14.1.100.1          Not Detected
  Router Solicitation interval : 10 seconds
  Robustness : 2
Tunnel 3
  Tunnel type           : 6to4
  Tunnel status        : UP
  Tunnel Local address type : auto
  Tunnel Local Ipv4 address : 192.1.3.4
```

**例 2.** 次の例では、all キーワードが設定されている場合の情報を表示します。

```
switchxxxxxx# show ipv6 tunnel all
Tunnel 1
  Tunnel type           : Manual
  Tunnel status        : UP
  Tunnel Local address type : VLAN 100
  Tunnel Local Ipv4 address : 192.1.3.4
```

```
Manual parameters
  Tunnel Remote Ipv4 address      : 192.3.4.5
ISATAP Parameters
  Router DNS name                 : ISATAP
  Router Solicitation interval    : 10 seconds
Robustness : 2

Tunnel 2
  Tunnel type                     : Manual
  Tunnel status                   : DOWN
  Tunnel Local address type       : auto
Manual parameters
  Tunnel Remote Ipv4 address      : 0.0.0.0
ISATAP Parameters
  Tunnel Local Ipv4 address       : 0.0.0.0
  Router DNS name                 : ISATAP
  Router Solicitation interval    : 10 seconds
Robustness : 2

Tunnel 3
  Tunnel type                     : ISATAP
  Tunnel status                   : UP
  Tunnel Local address type       : auto
Manual parameters
  Tunnel Remote Ipv4 address      : 0.0.0.0
ISATAP Parameters
  Tunnel Local Ipv4 address       : 192.1.3.4
  Router DNS name                 : ISATAP
  Router IPv4 addresses
    1.1.1.1                       Detected
    100.1.1.1                     Detected
    14.1.100.1                   Not Detected
  Router Solicitation interval    : 10 seconds
Robustness : 2
```

```
show ipv6 tunnel
```



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。